

平成 28 年 8 月 9 日  
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

## 企画展「没後 100 年記念 田中芳男 ―日本の博物館を築いた男―」

### 開催ならびに関係者・プレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林 良博）では、このたび下記のとおり、**企画展「没後 100 年記念 田中芳男 ―日本の博物館を築いた男―」**を開催いたしますので、お知らせいたします。

また、本企画展のオープンに先立ち **8 月 29 日（月）に、別添のとおり関係者・プレス内覧会を実施いたします**ので、ご案内申し上げます。

国立科学博物館は、8 月 30 日（火）から 9 月 25 日（日）の期間で、企画展「没後 100 年記念 田中芳男 ―日本の博物館を築いた男―」を開催いたします。

田中芳男（1838－1916）は、幕末から明治にかけて活躍した植物・博物学者であり、明治政府初期の官僚で万国博覧会の責任者、そして当館創設者の一人ともいえる人物です。

2016 年は、田中の没後 100 年に当たります。当館は、田中が創設した博物館の資料継承館の一つであり、当時の収集資料や田中芳男自筆資料、田中が収集・使用した書籍類を所蔵します。そこで館所蔵資料を中心とした企画展により、幕末から明治、大正にかけ博覧会・博物館から近代国家の基礎を築いた“田中芳男”の事蹟を、さまざまな角度から紹介します。

つきましては、展示のオープンに先立ち、**8 月 29 日（月）14 時～15 時 30 分の間、関係者・プレス内覧会**を実施いたしますので、取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

### 記

【会 場】国立科学博物館（台東区上野公園 7-20）日本館地下 1 階多目的室

【開催期間】平成 28 年 8 月 30 日（火）～平成 28 年 9 月 25 日（日）

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

（一般・大学生：620 円（団体 310 円）高校生以下および 65 歳以上無料※団体は 20 名以上）

【休 館 日】毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合は翌火曜日）

【主 催】独立行政法人国立科学博物館

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：南部

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL 03-5814-9883 FAX 03-5814-9898

**企画展 没後 100 年記念 田中芳男 ―日本の博物館を築いた男―**

**関係者・プレス内覧会のお知らせ**

**平成 28 年 8 月 29 日（月） 14 時～／上野・国立科学博物館**

国立科学博物館では、企画展「没後 100 年記念 田中芳男 ―日本の博物館を築いた男―」の開催に先立ち、下記のとおり関係者・プレス内覧会を実施いたします。

当日は、田中芳男胸像の除幕式及び担当研究者による展示解説も行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

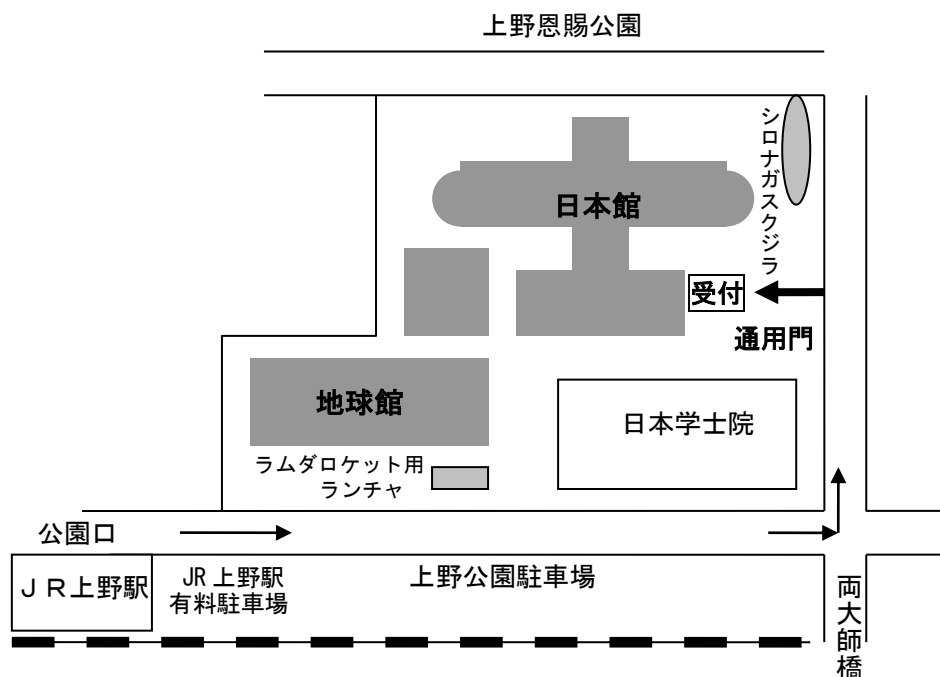
記

【日 時】 平成 28 年 8 月 29 日（月）14 時～15 時 30 分（受付開始 13 時 30 分～）

【会 場】 国立科学博物館 （東京都台東区上野公園 7-20）

【受 付 場 所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

＜交通のご案内＞ JR 上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分 ※駐車場の用意はございません。



## 当日のスケジュール

13 時 30 分～

受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）

14 時～15 時 30 分

田中芳男胸像除幕式及び展覧会内覧（会場：日本館地下 1 階多目的室）

- ・内覧に先立ち、田中芳男の故郷である長野県飯田市の市民有志による「田中芳男の胸像制作等を願う市民会議」より当館へ寄贈された田中芳男胸像の除幕式を執り行います。
- ・担当研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。
- ・展示室内の撮影が可能です（会期中は会場内撮影禁止です）。

## 担当研究者のプロフィール



国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループ 研究員

査名 貴彦（くつな たかひこ）

専門は材料工学、保存科学。

金や銀といった非鉄金属の生産に使用したとみられる遺物に、科学的な手法を活用して使用目的やその技術を調べることで、日本における非鉄金属生産技術の発展過程を研究しています。また、人間が生み出した様々なモノを未来に伝えるための研究もしています。

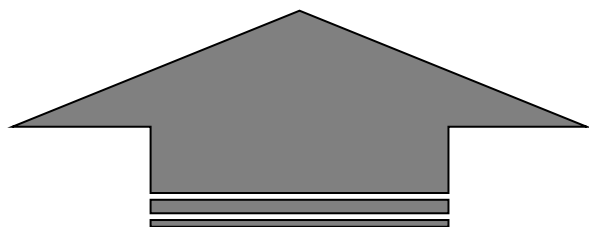


国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ 研究主幹

北山 太樹（きたやま たいじゅ）

海藻学が専門。

とくにコンブやワカメに代表される褐藻類を中心に、海藻の分類、生活史、地理的分布を研究しています。最近では、世界自然遺産に登録された小笠原諸島の海藻相の調査に着手したほか、絶滅が危惧される淡水産紅藻や明治時代の海藻学の歴史についても研究を行っています。



【 参 加 申 込 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 — 5 8 1 4 — 9 8 9 8 >

企画展「没後 100 年記念 田中芳男

—日本の博物館を築いた男—」

関係者・プレス内覧会 参加票

平成 28 年 8 月 29 日（月）14 時～ ※受付：13 時 30 分～

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、8月25日（木）までに  
F A Xにてご送信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

□ご出席

貴社名\_\_\_\_\_

貴メディア・所属部署名\_\_\_\_\_

ご芳名\_\_\_\_\_

連絡先

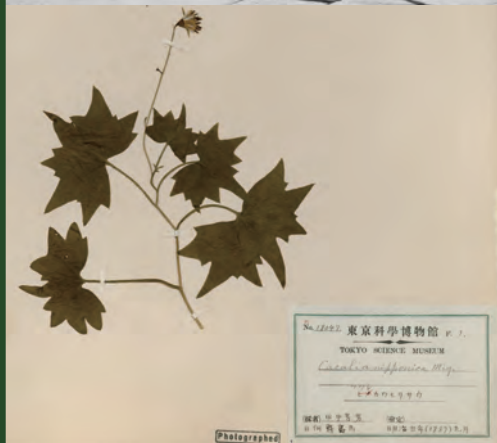
住所：〒 \_\_\_\_\_

TEL：\_\_\_\_\_ FAX：\_\_\_\_\_

メールアドレス：\_\_\_\_\_

備考\_\_\_\_\_





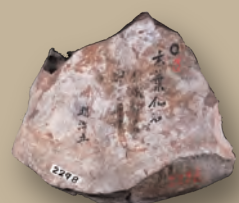
PREFACE FOR THE SECOND EDITION.  
The first edition of this work, published in the second year of the Xingpa Division, being entirely sold out, I was obliged to revise and correct it for a second edition.  
But, every thing being done very precipitately and hastily, it left me no sufficient time, but to correct some considerable typographical errors and mistakes in the translation and to add two tables, showing the composition of the irregular verbs and explaining the signs and abbreviations mostly used.  
At same time I fully understood, that the Japanese and Chinese names of Plants, Animals and Minerals and the relations of Measure, Weight and Space, in which there were a good many errors, ought to be corrected. I have done so with the kind assistance of my learned friends YAMAGAWA JUNIUS, TANAKA YOSHIO & others, for which I must express them my warmest thanks.  
Notwithstanding all this there will be found a good many faults as yet, and I repeat, that he who may find any will be as kind as to indicate them to me.  
YEDO, January, 1856. HOSIKOSI KAZENOSKAY.



# 田中芳男

企画展 没後百年記念

日本の博物館を築いた男  
二〇一六年八月三十日(火)〜  
九月二十五日(日)



No. 862. Yamanashi.  
Pyrus.  
ROSACEAE.  
64 asparagus falcatus Linn. 薺 薺菜  
65 asparagus officinalis Linn. 薺 薺菜  
66 aspidistra elatior Bl. 薺 薺菜  
67 aspidistra elatior Bl. 薺 薺菜  
68 atractylodes lancea DC. 薺 薺菜  
69 atractylodes lancea DC. 薺 薺菜  
70 atractylodes lancea DC. 薺 薺菜  
71 atractylodes lancea DC. 薺 薺菜



【会場】国立科学博物館(東京・上野公園) 日本館地下1階多目的室  
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
ハローダイヤル 03-5777-8600 <http://www.kahaku.go.jp/> 【主催】国立科学博物館  
【開館時間】午前9時〜午後5時(金曜は午後8時まで)  
\*入館は各閉館時刻の30分前まで  
【休館日】毎週月曜日 \*月曜が祝日の場合は翌火曜日



没後百年記念

田中芳男



— 日本の博物館を築いた男 —



## ～ 展示概要 ～

田中芳男(1838-1916)は、幕末から明治、大正にかけて植物学や博物学を基盤に、博覧会や殖産興業から農林水産業へと、日本の近代化に多方面から貢献した人物です。

田中は、若い頃より才能を発揮して、幕末明治の国内外の博覧会に数多く関わります。博覧会や殖産興業の収集品展示施設として博物館設立を考えました。また農林水産関係の諸団体や学校設立に関わるなど、植物・博物学者だけでなくマルチに才能を近代日本の発展に活かしました。

その田中芳男没後100年にあたる本年、当館所蔵の田中芳男に関わる資料を中心に田中の幅広い事蹟をご紹介します。

### I

“田中芳男”の生い立ち  
— 飯田・名古屋・江戸 —

天保9年(1838)、信濃国飯田に田中芳男は生まれました。父は医師であり、学問が身近な環境でした。18歳になると、名古屋へ進学し伊藤圭介の元で医学・蘭学・本草学を学びます。伊藤圭介の江戸出仕に伴い田中も出て、蕃書調所(後の開成所)で働きます。幕府の仏国万国博覧会参加のため田中は奔走、出品物と共に参加しました。

ここでは、田中の生い立ちから江戸での仕事に関わる資料を通して振り返ります。

### II

明治政府における“田中芳男”  
— 官僚・博覧会・博物館 —

パリ万博から帰国後、日本は江戸から明治へと代わり、田中も新政府に参加します。舎密局の設立や、勸業寮での精力的な活動がありますが、その後の博覧会での活動は彼の活躍の中心となります。ウィーン、フィラデルフィアの万国博覧会に参加し、日本を世界に紹介しました。そして、国内でも勸業博覧会を開催し、勸業振興に努めます。その成果を紹介する場所として、博物館(現東京国立博物館)の設立にも尽力しました。

本章は、勸業寮や万国博覧会や内国勸業博覧会、博物館の資料から彼の活躍を紹介します。

### III

#### 学者としての“田中芳男” – 蔵書・標本・スクラップブック –

本草学・博物学の泰斗伊藤圭介に師事した田中芳男は、日本の植物学・博物学に大きな足跡を残しています。植物学での功績は、『林娜（リンネ）氏植物綱目表』などで日本に近代的な植物分類体系を紹介や、初期の植物標本を作成しており国内各地の機関に現存します。博物学では、ラベルやチラシ、手紙など様々に貼り付けたスクラップブックを生涯にわたり作成しました。

ここでは、彼の蔵書や作成標本・スクラップブックから、学者の側面をお見せします。

### IV

#### “田中芳男”が思い描いた近代国家「日本」 – 振興・教育・啓蒙 –

明治官僚として農務局長や博物局長などを務めた田中は、農林水産業団体や駒場農学校（現東京大学農学部）の設立に関わるなど、農林水産業振興に深く関与しています。その田中の考える博物館が、明治24年三重県伊勢に開館します。田中が建設を委嘱された神宮農業館です。この博物館では、殖産興業を分かりやすい内容で展示し、殖産興業の啓蒙普及に役立てられました。

本章は、彼の農林水産振興での活動から彼の目指したものを、資料から読み解きます。

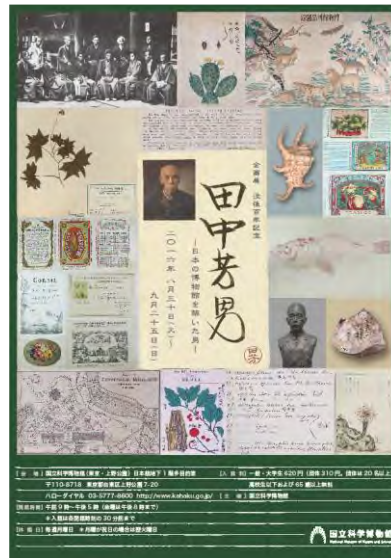
殖産興業の精神から博覧会や博物館に生涯をかけた“田中芳男”。彼が没して100年を経た現在の日本を彼が見ることができたら、どの思い、語るでしょうか。

ご多忙とは存じますが、是非ご観覧・ご取材くださいませう、ご案内申し上げます。

# 広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

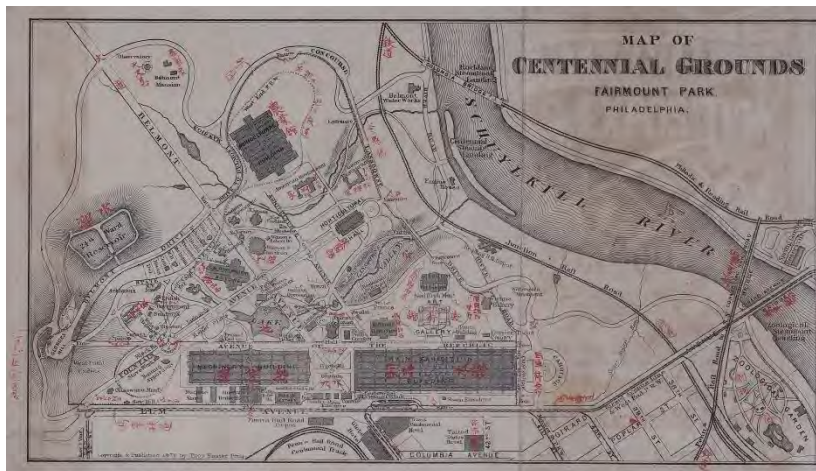
国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。  
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



広報用ビジュアル

(企画展「没後100年記念 田中芳男 ー日本の博物館を築いた男」)

画像提供: 国立科学博物館



The Centennial Exposition Guide

画像提供: 国立科学博物館



博物館列品図録

画像提供: 国立科学博物館

## 【記事利用の際のお願い】

- \* 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- \* 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- \* 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。(記事内容をチェックするものではありません。)
- \* ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈広報に関するお問い合わせ先〉 国立科学博物館 事業推進部 広報戦略担当

電話 03-5814-9855 FAX 03-5814-9899

E-mail: [shuzai@kahaku.go.jp](mailto:shuzai@kahaku.go.jp)

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20